



○ 雜 款

○ 著 退 任

六月十五日著任

六月十五日退任

復員廳第二復員局長 前田 稔

第二復員次官 三戸 壽

# 復員廳第二復員局公報

第二號

昭和二十一年六月十九日(水)  
第二復員局文書課

○令 達

復二第五號

昭和二十一年六月十五日

昭和二十一年六月十五日

復員廳總裁

横須賀地方復員局掃海部	横須賀支部
吳地方復員局	吳地方復員局
吳地方復員局掃海部吳支部	吳地方復員局掃海部
同	下關支部
同	徳山支部
同	仙崎支部
同	佐伯支部
佐世保地方復員局	佐世保地方復員局
佐世保地方復員局掃海部	佐世保地方復員局掃海部
佐世保支部	佐世保支部

横須賀掃海部	横須賀支部
吳地方復員局	吳地方復員局
大竹掃海部	大竹掃海部
下關掃海部	下關掃海部
徳山掃海部	徳山掃海部
仙崎掃海部	仙崎掃海部
佐伯掃海部	佐伯掃海部
佐世保地方復員局	佐世保地方復員局
佐世保掃海部	佐世保掃海部

ニ改メル

復二第六號

復員廳第二復員局及七地方復員局ノ定員ヲ別表ノヤウニ定メ

舞鶴地方復員局掃海部	舞鶴支部
同	境支部
同	敦賀支部
同	七尾支部
同	新潟支部
大阪地方復員局掃海部	大阪支部
大湊地方復員局	大湊地方復員局
大湊地方復員局掃海部	大湊支部

舞鶴掃海部	舞鶴掃海部
境掃海部	境掃海部
敦賀掃海部	敦賀掃海部
七尾掃海部	七尾掃海部
新潟掃海部	新潟掃海部
阪神掃海部	阪神掃海部
大湊地方復員局	大湊地方復員局
大湊掃海部	大湊掃海部

(参照 昭和二十一年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復員廳第二復員局公報 第二號 昭和二十一年六月十九日

三

1113

ル。

昭和二十一年六月十五日

復員廳總裁

(別表添)

復二第七號

昭和二十一年六月十五日

復員廳第二復員局長

復員廳各地方復員局長殿

復員事務官ノ定員ニ關スル件通知

別ニ定員表ヲ定メラレルモノノ外特別輸送艦船及ビ掃海艦船ニ關スル事項處理上必要ニ應ジテ左ノ人員(艦船乗員ノ豫備員トシテ)ヲ置クコトガデキルコトニ定メラレタ。

局名	復員事務官	
	二級	三級
第二復員局	七四	一一〇
横須賀地方復員局	四八	二六七
吳地方復員局	七六	四五九
佐世保地方復員局	七一	三五二

計	舞鶴地方復員局	大阪地方復員局	大湊地方復員局
三五二	三五	三一	一七
一、六九〇	二一九	一七三	一〇〇

四

1114

(別表)

復員廳第二復員局及地方復員局定員表

(昭和二十一年六月十九日第二復員局公報)

局名	復員事務官				嘱託
	一級	二級	三級	四級	
第一復員局	五	二三八	二〇五	一〇〇	
横須賀地方復員局	一	一五八	四二三	四〇	
吳地方復員局	一	二四九	六七六	二七	
佐世保地方復員局	一	二六一	五九三	二三	
舞鶴地方復員局	一	一五一	二三四	一八	
大阪地方復員局	一	一〇五	二八四	一三	
大湊地方復員局	一	六二	一六八	八	
合計	二二	一、二一四	二、五七三	二二九	

備考 一 復員事務官二級又ハ三級ノ人員ニハ夫々復員技官二級又ハ三級ヲコレニ充テルコトガデキル。  
二 總裁官房ニ二級ノ復員事務官二人及ビ三級ノ復員事務官一人ヲ配員スル。

# 復員廳第二復員局公報

第三號

第二復員局文書課

昭和二十一年六月二十日(木)

○令 達

復二第八號

復員廳第二復員局定員表(内譯)ヲ別表ノヤウニ定メラレタ。

昭和二十一年六月十五日

復員廳第二復員局長

(別表添)

復二第九號

復員廳地方復員局定員表(内譯)ヲ別表ノヤウニ定メラレタ。

昭和二十一年六月十五日

復員廳第二復員局長

(別表添)

復二第一〇號

復員廳分課規程ヲ次ノヤウニ定メラレタ。

昭和二十一年六月十五日

復員廳第二復員局長

復員廳分課規程

第一條 總裁官房ハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 總裁ノ官印又ハ廳印ノ管守ニ關スル事項

二 總裁ニ直接關係アル復員廳關係ハ公文書類及ビ成案文書

ノ接受發送並ビニ編纂保存ニ關スル事項

第二條 第一復員局ハ、陸軍ノ復員及ビコレニ關聯スル事務ヲ

掌ル。

第三條 第二復員局ハ、海軍ノ復員及ビコレニ關聯スル事務ヲ

掌ル。

第四條 第一復員局分課規程ハ、別紙第一ノヤウデアアル。(別

紙第一ヲ略ス)

第五條 第二復員局分課規程ハ、別紙第二ノヤウデアアル。

(別紙第二)

第二復員局(地方復員局ヲ含ム)分課規程

第一章 第二復員局

第一條 第二復員局ニ文書課、總務部、人事部及ビ經理部ヲ置

キ、總務部ニ總務課、艦船運航課、掃海課、造修課、醫務課

及ビ電信課ヲ、人事部ニ人事課、扶助課及ビ業績課ヲ、經理

部ニ主計課、會計課及ビ契約課ヲ置ク。

前項ノ外臨時ニ補給部、調査部、連絡部及ビ資料整理部ヲ置

ク。

第二條 文書課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。

復員廳第二復員局公報 第三號 昭和二十一年六月二十日

五

- 一 總裁官房トノ連絡ニ關スル事項
  - 二 第二復員局長ノ官印及ビ局印ノ管守ニ關スル事項
  - 三 局長ノ應接接待ニ關スル事項
  - 四 公文書類ノ接受及ビ發送ニ關スル事項
  - 五 公文ノ淨書ニ關スル事項
  - 六 公文書類ノ編纂及ビ保存ニ關スル事項
  - 七 局内ニオケル印刷ニ關スル事項
  - 八 官報報告及ビ第二復員局公報ニ關スル事項
  - 九 局内ノ保安、取締及ビ宿直ニ關スル事項
  - 十 局内諸施設ノ保全及ビ利用竝ビニ自動車ノ整備及ビ利用ニ關スル事項
  - 十一 聯合國側ヨリノ呼出ニ關スル事項
  - 十二 受付案内ニ關スル事項
  - 十三 他部課ノ所掌ニ屬シテナイ事項
- 第三條 總務課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。
- 一 各部事務ノ綜合統制ニ關スル事項
  - 二 部外交渉ノ一般ニ關スル事項
  - 三 規律ノ維持ニ關スル事項
  - 四 他部課ノ所掌ニ屬シテナイ復員關係ノ重要事項ニ關スル事項
- 第四條 艦船運航課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。
- 一 特別輸送艦船ノ運航ニ關スル事項
  - 二 特別輸送艦船乗員ノ教育ニ關スル事項

- 第五條 掃海課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。
- 一 掃海ニ關スル事項
  - 二 掃海艦船乗員ノ教育ニ關スル事項
- 第六條 造船課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。
- 一 艦船造船ノ企畫ニ關スル事項
  - 二 資材、需品(別ニ區分ノモノ以下同様トスル)、部品及ビ掃海器具ノ準備ニ關スル事項
- 第七條 醫務課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。
- 一 醫務ニ關スル事項
  - 二 醫療品ノ準備ニ關スル事項
- 第八條 電信課ハ、通信ノ實施ニ關スル事務ヲ掌ル。
- 第九條 人事課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。
- 一 補任及ビ復員ニ關スル事項
  - 二 ソノ他人事一般ニ關スル事項
- 第十條 扶助課ハ、扶助業務ニ關スル事務ヲ掌ル。
- 第十一條 業績課ハ、戰歿者ノ業績調査ニ關スル事務ヲ掌ル。
- 第十二條 主計課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。
- 一 第二復員局ニ屬スル豫算、決算及ビ特別會計ニ關スル事項
  - 二 給與、物品經理ノ規定、監査證明竝ビニ損害補償及ビ慰藉ノ審査ニ關スル事項
  - 三 國有財産ニ關スル事項
- 第十三條 會計課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 第二復員局ニ屬スル收入、支出ニ關スル事項  
 二 第二復員局ノ應用物品ノ供給並ビニ郵便、電信及ビ電話ノ取扱ニ關スル事項  
 三 部中他課ノ所掌ニ屬シテナイ事項ニ關スル事項  
 第十四條 契約課ハ、左ノ事務ヲ掌ル。  
 一 賣買、貸借、請負ノ他ノ契約ニ關スル事項、  
 二 契約ノ殘務整理及ビ契約物品ノ整理ニ關スル事項  
 第十五條 補給部ハ、左ノ事務ヲ掌ル。  
 一 需品、燃料及ビ衣糧ノ準備、保管及ビ供給ニ關スル事項  
 二 掃海要具及ビ醫療品ノ保管及ビ供給ニ關スル事項  
 第十六條 調査部ハ、國際法規ニ關スル事務ヲ掌ル。  
 第十七條 連絡部ハ、左ノ事務ヲ掌ル。  
 一 聯合國トノ連絡及ビ通譯ニ關スル事項  
 二 翻譯整理ニ關スル事項  
 第十八條 資料整理部ハ、左ノ事務ヲ掌ル。  
 一 各種資料ノ調査ニ關スル事項  
 二 艦政本部、航空本部及ビ施設本部ノ殘務整理ニ關スル事項  
 第十九條 各部ニハ部長ヲ置ク、復員事務官ヲコレニ充テル、局長ノ命ヲ承ケテ各部ノ事務ヲ掌ル。  
 第二十條 各課ニハ課長ヲ置ク、復員事務官ヲコレニ充テル、局長又ハ部長ノ命ヲ承ケテ各課ノ事務ヲ掌ル。  
 第二十一條 文書課及ビ各部ハ廳ニ、文書課長及ビ各部長ハ廳

長ニ準ズルモノトスル。  
 第三章 地方復員局  
 第二十二條 各地方復員局ノ局長ニハ一級ノ復員事務官ヲコレニ充テル、各局ノ局務ヲ掌理スル。  
 第二十三條 地方復員局ニ總務部、人事部、補給部及ビ經理部ヲ置ク。但シ、大阪地方復員局及ビ大湊地方復員局ニハ人事部ヲ置カナイ。  
 第二十四條 總務部ハ、左ノ事務ヲ掌ル。  
 一 各部事務ノ綜合調整ニ關スル事項  
 二 局長ノ官印及ビ局印ノ管守ニ關スル事項  
 三 公文書類ノ接受及ビ發送ニ關スル事項  
 四 公文書類ノ保存ニ關スル事項  
 五 渉外事項ニ關スル事項  
 六 特別輸送艦船ノ運航及ビ掃海ノ一般事項ニ關スル事項  
 七 艦船ノ修理並ビニ資材及ビ部品ノ保管及ビ供給ニ關スル事項  
 八 通信ノ實施ニ關スル事項  
 九 海軍ノ廢止廳關係ノ殘務整理及ビ各種資料ノ調査ニ關スル事項  
 十 ソノ他他部ノ所掌ニ屬シテナイ事項  
 第二十五條 人事部ハ、人事(三級官吏ノ任免ヲ含ム)ニ關スル事務ヲ掌ル。  
 第二十六條 補給部ハ、需品、燃料、衣糧、掃海要具及ビ醫療品ノ調達及ビ供給ニ關スル事務ヲ掌ル。



第二十七條 經理部ハ豫算、決算、監査、給與及ビ契約並ニ  
 ソノ他ノ會計經理ノ實行ニ關スル事務ヲ掌ル。  
 第二十八條 各地方復員局ノ所掌事項ヲ實施スルタメ運航部、  
 掃海部及ビ上陸地連絡所ヲ置ク、ソノ所屬、所在地、實施事  
 項等左ノヤウデアアル。

所屬	所 在 地	
	運 航 部	掃 海 部
横須賀地 方復員局	横須賀	浦賀
吳地方復 員局	大竹、下關、徳 山、佐伯	大竹、下關
佐世保、鹿兒島、 博多、關門	佐世保	佐世保、鹿兒島、 博多
舞鶴地方 復員局	舞鶴、境、教賀、 七尾、新瀉	舞鶴
大阪地方 復員局	阪神	名古屋、津
大湊地方 復員局	大湊	函館

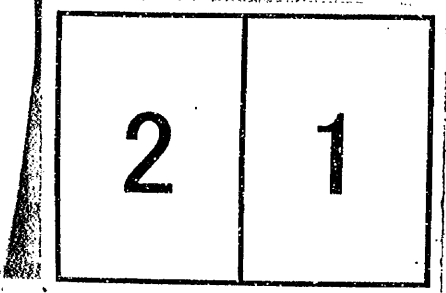
  

實施事項	所 在 地	
	一	二
特別輸送艦 ノ運航ノ事	一 所在地方海面	一 上陸地ニ於 ケル復員(調 査ヲ含ム)事 務ニ關スル事
特別輸送艦 ノ豫備及 ノ收容ノ事	二 掃海ノ事	二 復員(調 査ヲ含ム)事 務ニ關スル事
船舶ノ豫備 及ノ收容ノ 事	三 掃海ノ事	三 復員(調 査ヲ含ム)事 務ニ關スル事
航空機上ノ 危険ノ事	三 掃海ノ事	三 復員(調 査ヲ含ム)事 務ニ關スル事

第二十九條 各部ノ部長又ハ上陸地連絡所長ニハ復員事務官ヲ  
 コレニ充テル、各部所ノ事務ヲ掌ル。  
 第三十條 各部及ビ上陸地連絡所ハ廳ニ、各部長及ビ上陸地連  
 絡所長ハ廳長ニ準ズルモノトスル。  
 第三十一條 前諸條ニ規定スルモノ以外人事部、補給部、經理  
 部及ビ掃海部ニオケル職員ノ服務ニ關シテハ夫々元ノ海軍人  
 事部、海軍軍需部、海軍經理部又ハ防備隊ノ例ニヨル。



# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	復員庁地方復員局定員表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	



考備	合	大					阪					舞										保										世										佐										吳																																							
		函館上陸地連絡所	函館運航部	掃海部	補給部	經理部	名古屋上陸地連絡所	名古屋運航部	田邊上陸地連絡所	田邊運航部	阪神掃海部	舞鶴上陸地連絡所	舞鶴運航部	新湊掃海部	七尾掃海部	敦賀掃海部	境掃海部	舞鶴掃海部	運航部	補給部	經理部	人事	總務	唐津上陸地連絡所	博多上陸地連絡所	博多運航部	鹿兒島上陸地連絡所	佐世保上陸地連絡所	佐世保掃海部	新津運航部	關門運航部	博多運航部	鹿兒島運航部	佐世保運航部	補給部	經理部	人事	總務	仙崎上陸地連絡所	下關上陸地連絡所	大竹上陸地連絡所	大竹運航部	仙崎運航部	大竹運航部	吳運航部	補給部	經理部	人事	總務																																										
復員事務官二級又ハ三級ノ人員ニハ夫々復員技官二級又ハ三級ヲコレニ充テルコトガデキル。	計	六					六					六										六										六										六										六										六																													
	一、二、六、四	七九					一三六					一八六										三三三										四四五										九四五										一、一、三、五										一、一、三、五										一、一、三、五										一、一、三、五									
	三、九、三、八	二六八					四五七					四四三										九四五										九四五										一、一、三、五										一、一、三、五										一、一、三、五										一、一、三、五																			
	一、二、九	八					一三					一九										一三										一三										一三										一三										一三										一三																			
		二〇					二〇					二〇										二〇										二〇										二〇										二〇										二〇										二〇																			
	六、六、八〇	三六八					五五〇					九二二										一、六、四〇										一、六、四〇										一、六、四〇										一、六、四〇										一、六、四〇										一、六、四〇																			

(二復人第一八號ノ一別表第三)

(昭和二十一年七月二十日復員廳第二復員局公報)

所 在 定 員	配員標準		所 在 定 員	配員標準		所 在 定 員	配員標準	
	中 央	地 方		中 央	地 方		中 央	地 方
東 京 九	六	三	函 館 三	二	一	德 島 四	三	一
横 濱 四	三	一	旭 川 三	二	一	熊 本 五	三	二
浦 和 四	二	二	名 古 屋 六	四	二	福 岡 六	四	二
千 葉 四	三	一	津 五	四	二	鹿 兒 島 五	三	二
甲 府 四	二	二	岐 阜 四	三	一	宮 崎 四	三	一
靜 岡 五	三	二	岡 山 五	四	一	大 分 四	三	一
前 橋 四	三	一	廣 島 四	三	一	佐 賀 四	三	一
宇 都 宮 四	三	一	松 江 四	三	一	長 崎 四	三	二
長 野 五	四	一	鳥 取 四	二	二	山 形 四	三	一
水 戸 五	四	一	山 口 五	四	一	新 潟 五	四	一
福 島 五	四	一	大 阪 七	五	二	金 澤 四	三	一
仙 臺 五	四	一	和 歌 山 四	二	二	富 山 四	三	一
盛 岡 四	三	一	神 戶 五	四	一	京 都 四	二	二
秋 田 四	三	一	奈 良 四	三	一	大 津 四	二	二
青 森 五	四	一	高 松 四	三	一	福 井 四	二	二
計	三三〇	一五五	計	一五五	六五	計	一五五	六五

二級事務官配員標準(地方世話部)

復員廳第二復員局公報

第四號

事務主任

第二復員局文書課

昭和二十一年六月二十六日(水)

○令 達

復員第二三號

元吳鎮守府在籍

伊號第五百一潜水艦

伊號第五百二潜水艦

伊號第五百五潜水艦

伊號第五百六潜水艦

右ヲ帝國潜水艦籍カラ除ク。

昭和二十一年六月十五日

復員廳總裁

復員第二三號

第二復員部内係給家族下渡規則ヲ次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年六月二十五日

復員廳總裁

第五條中「第二復員省經理局」ヲ「復員廳第二復員局經理部」ニ改メ、同條第三號中但書ヲ削ル。

第九條、第十條及ヒ第十一條中「第二復員省經理局」ヲ「復員廳第二復員局經理部」ニ改メル。

第十八條中「普通賞與(年末賞與、年度末賞與及臨時賞與」

復員廳第二復員局公報 第四號 昭和二十一年六月二十六日

復員廳第二復員局公報 第四號 昭和二十一年六月二十六日

謂フ)及ビ特別賞與」ヲ「及普通賞與」ニ改ム。

第二十條中「第二復員省經理局」ヲ「復員廳第二復員局經理部」ニ改メル。

様式第二及様式第三中「第二復員省經理局長」ヲ「復員廳第二復員局經理部長」ニ改メル。

附則

本則ハ昭和二十一年六月十五日以後ノ給與ニツキコレヲ適用スル。但シ第十八條ノ改正規定ハ昭和二十一年七月一日ヨリ之ヲ施行スル。

○通牒

復員第二七八號

當分ノ開名古屋上陸地連絡所ニ二級ノ事務官一人及ビ雇員備入十人以內臨時増置スルコトニ定メラレタ。

昭和二十一年六月十五日

復員廳第二復員局長

二復員總務局第二〇號

昭和二十一年六月二十一日

各地方復員局總務部長宛

復員廳第二復員局總務部長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局長

戦犯容疑者ノ財産封鎖ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シテハ先般新聞紙等ニテ報道セラレ既ニソノ概要ハ承知ノコトナルモノノ後本件ニ關スル正確ナル情報ガ一般ニ行五ラナイクメニ一部ノ容疑者家族等ニテハ金融緊急措置令ニヨル生活資金引出シ等モ不可能ニナルモノト誤解シテキル者モアルヤニ仄聞スルガ本件ニ關シテハ五月二十四日勅令第二百八十六號及ビ大藏省令第六十五號(五月二十五日官報掲載)ニテ明示セラレテ居ルカラ右ニ基イテ關係家族等ニ對シテハ徒ラニ危惧ノ念ヲ抱カシメナイ様ニ宜シク指導サレタイ。

第二〇一三四一番電發電濟ノ昭和二十一年六月二十日

發 經理部長

宛 部内一般

軍人ノ旅費等級ニ關スル件

各科大佐ノ旅費等級ハ海軍内國旅費規則其ノ他ノ規定ニ拘ラズ西等ト定メラル。

○ 雜 款

○ 開 廳

六月十五日開廳 復員廳總裁官房

東京都麹町區永田町(内閣内)

電話 第二復員局内線 一一

首相官邸内線 二二、二三

(銀座) 二五六〇



復員廳第二復員局公報

第五號

昭和二十一年六月二十七日(本)  
第二復員局文書課

○通牒

復二第三三號

昭和二十一年六月二十五日

復員廳第二復員局長

各廳長殿

支那ノ呼稱ヲ避ケルコトニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り申越シガアツタカラ了知サレタイ。

(別紙)

文令第三五七號

昭和二十一年六月六日

外務次官

第二復員次官殿

支那ノ呼稱ヲ避ケルコトニ關スル件

本件ニ關シ外務省總務局長カラ六月六日附テ都下ノ主ナ新聞雜誌社長ニ對シ念ノタメ寫ノヤウニ申送ツタ。右參考ノタメ御送りスル次第アルガ、機會ガアツタラ御關係ノ向ヘモ同様御傳ヘシ得タイ。

(寫)

復員廳第二復員局公報 第五號 昭和二十一年六月二十七日

岡崎外務省總務局長

昭和二十一年六月六日

中華民國ノ國名トシテ支那トイフ文字ヲ使フコトハ過去ニ於テハ普通行ハレテ居タノデアアルガ其ノ後之ヲ改メラレ中國等ノ語ガ使ハレテホル處支那トイフ文字ハ中華民國トシテ極度ニ嫌フモノデアリ、現ニ終戰後同國代表者ガ公式非公式ニ此ノ字ノ使用シヤメテ實ヒ度イトノ要求ガアツタノデ今後ハ理窟ヲ抜キニシテ先方ノ嫌ガル文字ヲ使ハヌ様ニシタイト考ヘ念ノタメ貴意ヲ得ル次第デス。

要スルニ支那ノ文字ヲ使ハナケレバヨイノデスカラ用辭例トシテハ  
中華民國、中國、民國。  
中華民國人、中國人、民國人、華人。  
日華、米華、中蘇、英華。

ナドノイヅレヲ用ヒルモ差支ナク唯歴史的地理的又ハ學術的ノ敘述ナドノ場合ハ必シモ右ニ據リ得ナイ例ヘバ東支那海トカ日支事變トカ云フコトハヤムヲ得ヌト考ヘマス。  
チナミニ現在ノ滿洲ハ滿洲デアリ滿洲國デナイコトモ念ノタメ申述ヘマス。

二復人第一號ノ七

昭和二十一年六月二十六日

復員廳第二復員局人事部長

各地方復員局總務部長殿

海軍將校分限令等ヲ廢止スル勅令公布ニ伴ヒ

歸還軍人解員後ノ身分ニ關スル件照會

歸還軍人ノ解員ニ關シテハ昭和二十二年四月二十五日二復人事局補第一八號ノ四四中進(第二復員省公報第七八號參照)ニヨリ實施ノコトニ定メラレテアリ今後ノ歸還者ニ對シテモ同中進ノ通り實施セラレルノデアルガ豫備役編入又ハ召集解除ニヨリ解員サレタ後ハ昭和二十年勅令第六百三十四號(兵役法及ビ兵役法施行令等ヲ廢止スル件)及ビ今般公布ノ勅令第三百二十二號(海軍將校分限令等ヲ廢止スル件)ヲ以テ軍人タルノ身分ヲ失フモノデアルカラ念ノタメ了知サレタイ。

○ 雜 款

○郵便物發送先

特別輸送艦 輸第十三號 佐世保局氣付

特別輸送艦 占 守 神奈川縣橫須賀市浦賀郵便局氣付

特別輸送艦 荒 崎 長崎縣佐世保市 佐世保地方復員局氣付

○事務開始

佐世保地方復員局鹿兒島上陸地連絡所ハ六月十五日カラ鹿兒島

市六日町(無盡會社三階)

鹿兒島運航部ハ六月十五日カラ鹿兒島市六日町(無盡會社三階)

(後二第三八號別紙)  
別表第一

備用品

掃海具、水中處分具、爆破鈎、發火電線、發火器、絶縁試驗器、信管導通試驗器、捲揚機、落下機、展開器、沈降器、沈降器グビット、掃海立標、舷外電路用電線、測深器、輕便探信儀(探雷器用)、既掃面圖作製要具、磁針、帶磁裝置、磁針測定器

消耗品

發音彈、機雷處分火藥(機雷電氣信管、九九式小銃彈、三八式小銃彈、七・七耗機銃彈、一三耗機銃彈、二五耗機銃彈)

別表第二

第一種需用品 甲

主管別	品名
内務長	發電機、空氣壓縮ポンプ、氣密器、電動發電機、電動昇壓機、電動機、電動送風機、配電盤、蓄電池、高聲令達機、電話器、探照燈及ビ同關聯裝置、試驗要具(絶縁試驗器ノミ艦船ニ供給其ノ他ハ補給部ニ保管)
航海長	轉輪羅針儀、磁氣羅針儀、短艇羅針儀、測程儀、測深儀、經緯儀、昇時計甲、板時計、秒時計、六分儀、三分度儀、方位鏡、方位桿、風速計、晴雨計、測距儀、望遠鏡、双眼鏡、航海科通信裝置、信號探照燈、二〇信號燈、二〇極信號燈
通信長	送信機、受信機、無線電信機、方位測定機、無線電話機、電波鑑査機、測波器、電波探信儀、發電機及電動發電機(無線關係用)、蓄電池(通信用)、試驗要具、ラヂオ受信機
機關長	機關科指揮通信器

消耗品

主管別	品名
内務長	電球(各長主管ノ特殊ノモノヲ除ク)、探照燈用炭棒、刷子
航海長	着色管、九九式測深儀用記録紙、電球(特殊ノモノ)
通信長	真空管
機關長	電球(特殊ノモノ)、刷子

別表第三

第二種需用品 乙

主管別	品名
内務長	電氣鐵付製、蓄電池檢電要具(ヌボイト比重計、寒暖計、注液瓶) 受金
航海長	最高最低寒暖計、乾濕寒暖計、秤水器、視圖鏡、双眼鏡葦袋類、測距儀用目當ゴム及ビ接眼ゴム、望遠鏡及ビ双眼鏡目當ゴム
機關長	

消耗品

主管別	品名
内務長	各種糸(板)ヒューズ、ヒューズ筒及ビヒューズ外筒、衛帶類、覆硝子、乾電池
航海長	サルチルサン、轉輪羅針儀用油
通信長	
機關長	

別表第四

第一種需用品 丙

主管別	品名
内務長	電熱器、電燈、電路(以上機關科以外)、呼鐘裝置、電聲管電鐘裝置、蒸溜水瓶
航海長	航海燈、信號燈(第一種需用品中以外ノモノ)
通信長	空中線裝置、通信科指揮通信裝置
機關長	電熱器、電燈、電路(以上機關科用)

消耗品

主管別	品名
内務長	純硫酸、蒸溜水
航海長	
通信長	
機關長	

復員廳第二復員局公報

第六號

昭和二十一年六月二十九日(土)

第二復員局文書課

○令 達

復二第三八號  
補給用物件中舊兵器及ビ舊艦營需品ノ取扱ヒニ關シ次ノヤウニ定メル。

昭和二十一年六月十六日

復員廳總裁

一 舊艦政本部所掌兵器中掃海ニ必要ナモノヲ掃海要具(別表第一)、ソノ他ヲ第一種需品ト稱スル。

- 二 第一種需品ヲ準備要領ニ從ヒ第一種需品甲(別表第二)、第一種需品乙(別表第三)及ビ第一種需品丙(別表第四)ニ區分スル。
- 三 舊艦營需品ヲ第二種需品トスル。
- 四 掃海要具竝ビ第一種及ビ第二種需品ノ計畫、準備、保管及ビ供給ノ擔當廳竝ビニ經費支出區分ヲ左ノ通りトシ之方物品整理ハ地方復員局補給部ニオイテ實施スル。

區分	擔當		經費支出區分	記事
	計畫	保管供給		
掃海要具	第二復員局總務部造修課	第二復員局補給部	艦艇修理費	第一種需品丙ノ準備竝ビニ受渡ハ造船所等ニ實施サセルノヲ例トスル
	第二復員局總務部造修課	地方復員局補給部	艦艇修理費	
第一種需品	地方第二復員局	地方復員局補給部	需品費(艦艇修理費カラ移用)	
	地方第二復員局	地方復員局補給部	艦艇修理費	
第二種需品	地方第二復員局	地方復員局補給部	需品費	

復員廳第二復員局公報 第六號 昭和二十一年六月二十九日

復員廳第二復員局公報 第六號 昭和二十一年六月二十九日

一四

五 需品ノ主管別ヲ左ノ通リトスル。

(イ) 第一種需品

内務長主管、航海長主管、通信長主管、機關長主管

(ロ) 第二種需品

内務長主管(從來ノ砲術長主管ヲ含ム)、航海長主管、通信長主管、掃海長主管(從來ノ水雷長及ビ機雷長主管ヲ一括ス)、機關長主管、主計長主管  
(別紙添)

復二第40號

昭和二十年官房經第一號第二復員部内特別賞與支給規則ハ昭和二十一年六月三十日限り之ヲ廢止スル

昭和三十一年六月二十八日

復員廳 總裁

(參照) 昭和二十年十二月三日公報

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

特別輸送艦 海第七十九號 岡山縣玉野市玉

三井造船所氣付

(復二第三八號別紙)

(昭和二十一年六月二十九日復員廳第二復員局公表)

別表第一

掃海要具

備品

掃海具、水中處分具、爆破筒、發火電線、發火器、絕緣試驗器、信管導通試驗器、捲揚機、落下機、展開器、沈降器、沈降器ダビット、掃海立標、舷外電路用電線、測深器、輕便探信儀(探信器用)、既掃面圖作製要具、磁針、帶磁裝置、磁力測定器

消耗品

發音彈、機雷處分火藥(機雷電氣信管、九九式小銃彈、三八式小銃彈、七・七耗機銃彈、一三耗機銃彈、二五耗機銃彈)

別表第二

第一種需品甲

備品

發電機、空氣壓縮ポンプ、氣蓄器、電動發電機、電動昇壓機、電動機、電動送風機、配電盤、蓄電池、高聲令達機、電話器、探照燈及ビ同關聯裝置、試驗要具(絕緣試驗器ノミ艦船ニ供給其ノ他ハ補給部ニ保管)  
航海長 轉輪羅針儀、磁氣羅針儀、短艇羅針儀、測程儀、測深儀、經緯儀、掛時計甲、板時計、秒時計、六分儀、三稜分度儀、方位鏡、方位桿、風速計、晴雨計、測距儀、望遠鏡、双眼鏡、航海科通信裝置、信號探照燈、ニキロ信號燈、二〇種信號燈

通信長 送信機、受信機、無線電信機、方位測定機、無線電話機、電波鑑査機、測波器、電波探信儀、發電機及電動發電機(無線關係用)、蓄電池(通信用)、試驗要具、ラヂオ受信機

機關科指揮通信器

消耗品

品

名

主管別  
內務長 電球(各長主管ノ特殊ノモノヲ除ク)、探照燈用炭棒、刷子  
航海長 着色管、九九式測深儀用記録紙、電球(特殊ノモノ)  
通信長 真空管  
機關長 電球(特殊ノモノ)、刷子

別表第三

第一種需品乙

備品

主管別  
內務長 電氣鐵付製、蓄電池檢電要具(スポイト比重計、寒酸計、注液瓶)受金  
航海長 最高最低寒酸計、乾濕寒酸計、秤水器、視圖鏡、双眼鏡革袋類、測距儀用目當ゴム及ビ接眼ゴム、望遠鏡及ビ双眼鏡目當ゴム

消耗品

品

名

主管別  
內務長 各種糸(板)ヒューズ、ヒューズ筒及ビヒューズ外筒、帶類、覆硝子、乾電池  
航海長 サルチルサン、轉輪羅針儀用油

別表第四

第一種需品丙

備品

主管別  
內務長 電熱器、電燈、電路(以上機關科以外)、呼鐘裝置、電聲管電鐘裝置、蒸溜水瓶  
航海長 航海燈、信號燈(第一種需品甲以外ノモノ)  
通信長 空中線裝置、通信科指揮通信裝置  
機關長 電熱器、電燈、電路(以上機關科用)

消耗品

品

名

主管別  
內務長 純硫酸、蒸溜水  
航海長  
通信長  
機關長